

予算の執行とその概要

平成20年度の我が国経済は、資源の高騰や米国の金融問題を契機とした世界的な景気後退、実体経済の悪化などにより内需、外需とも極めて厳しい状況に陥りました。

また、地方経済を取り巻く環境も百年に一度と言われる未曾有の経済不況の中にあつて、企業の撤退や倒産、雇用情勢の悪化などにより激変し、その影響から地方自治体の財政が深刻化する事態を招いたことから、国において、厳しい経済情勢を踏まえた緊急経済対策として、国民生活の不安解消と雇用維持を図るため、2次にわたる補正予算を計上するなど地方自治体への影響に配慮した様々な財政措置が講じられました。

このような状況下において、本市も国の地域経済の活性化や市民生活支援等の対策に係る予算を有効に活用することを第一に、真に必要な施策を打ち出しましたが、国の補正財源の大半が国の借金である国債により賄われていること、景気後退による国税や地方税の大幅な減収が予想されること、さらには行政改革や財政健全化の取組の推進などによる地方行政経費の削減、抑制を求める国の自治体行財政の縮小基調に変わりがないことに鑑み、今後も厳しい財政運営を余儀されるものと危惧しながら、補正予算を計上したところであります。

予算の執行にあたりましては、将来にわたり持続可能な財政基盤の確立に向け、執行方針に基づきながら、第4次芦別市総合計画及び芦別市財政健全化計画の着実な実行を基本として、様々な行政課題に対応いたしました。特に、地域経済の活性化と雇用確保、生活環境の向上、地域の振興に資する社会資本整備事業として、道路整備、公営住宅建替、森林環境保全整備、学校施設整備、上下水道整備などを実施するとともに、市民生活の向上や少子高齢化に対応した福祉・医療・教育の充実に鋭意努めてまいりました。

この結果、各会計の決算状況は、次のようになったところであります。

一般会計

1 予算規模及び収支状況（表1参照）

平成20年度の予算額は、当初予算において103億9,900万円を計上するとともに、年度途中で専決処分を含めて9回にわたり12億8,422万2千円の追加補正を行った結果、116億8,322万2千円となり、前年度の予算総額と比較すると1億9,459万5千円（1.7%）の増加となりました。

予算執行の結果は、歳入決算額110億2,490万7千円、歳出決算額109億4,623万1千円となり、歳入歳出差引き7,867万6千円の剰余金が生じたので、全額を翌年度へ繰り越しました。

なお、平成20年度の単年度収支は、この額から平成20年度の繰越明許費6,035万7千円と前年度の実質収支7,529万6千円を差し引いた5,697万7千円の赤字となりました。

表1 歳入歳出決算額の対前年度比較

（単位：円・%）

| 区分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|----------------------|----------------|----------------|-------------------|---------|
| 歳入決算額 (ア) | 11,024,907,880 | 11,344,027,126 | △ 319,119,246 | △ 2.8 |
| 歳出決算額 (イ) | 10,946,230,953 | 11,268,730,510 | △ 322,499,557 | △ 2.9 |
| 差引き (ア)-(イ) (ウ) | 78,676,927 | 75,296,616 | 3,380,311 | 4.5 |
| 翌年度へ繰り 越すべき財源 (エ) | 60,357,000 | 0 | 60,357,000 | 皆 増 |
| 実質収支 (ウ)-(エ) (オ) | 18,319,927 | 75,296,616 | △ 56,976,689 | △ 75.7 |
| 単年度収支 (オ)の(A)-(B) | △ 56,976,689 | 63,337,948 | △ 120,314,637 | △ 190.0 |

2 歳入の状況（5ページ表2及び7ページ表3参照）

平成20年度の歳入決算額は、110億2,490万7千円となり、前年度と比較すると3億1,912万円（2.8%）の減少となりました。

歳入決算額の主な増減を款別にみますと、

市税については、6,195万6千円（3.5%）の減少となりましたが、これは、軽自動車税、鉦産税、都市計画税が増加となったものの、市民税、固定資産税、市たばこ税、入湯税が減少したことによるものであります。

地方譲与税については、679万3千円（4.2%）の減少となりましたが、これは、自動車重量譲与税294万1千円（2.4%）、地方道路譲与税385万2千円（9.3%）が減少したことによるものです。

利子割交付金については、13万7千円（2.4%）の減少となりました。

地方消費税交付金については、1,848万2千円（9.8%）の減少となりました。

地方特例交付金については、581万5千円（76.5%）の増加となりましたが、これは、道路特定財源に係る暫定税率失効期間中（平成20年4月分）の自動車取得税、軽油引取税、地方道路譲与税の減収分を今年度に限り地方税等減収補てん臨時交付金として交付されたことによるものです。

地方交付税については、8,890万9千円（1.9%）の増加となりました。これは、普通交付税5,591万7千円（1.4%）、特別交付税3,299万2千円（5.2%）がそれぞれ増加したことによるものであります。

国庫支出金につきましては、1億9,274万9千円（15.7%）の減少となりましたが、これは、子育て応援特別手当交付金、地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金、地域活性化・生活対策臨時交付金等が増加となったものの、特別養護老人ホームユニット化整備事業費交付金、総合福祉センター耐震改修等事業費交付金、公営住宅整備事業費交付金、後期高齢者医療制度円滑導入事業費補助金、後期高齢者医療制度創設準備事業費補助金等が減少したことによるものであります。

道支出金については、3,577万1千円（5.9%）の減少となりましたが、これは、後期高齢者医療保険基盤安定負担金、高齢者等の冬の生活支援事業費補助金、徴収取扱費交付金等が増加となったものの、国民健康保険基盤安定負担金、国民健康保険基準超過費用額共同負担金等が減少したことによるものであります。

繰入金については、2億2,958万5千円（56.9%）の減少となりましたが、これは、三井地域振興基金繰入金、社会福祉事業推進基金繰入金、滝里ダム地域振興基金繰入金等が増加したものの、減債基金繰入金、農業担い手等育成事業基金繰入金、土地開発基金繰入金等が減少したことによるものです。

市債については、4億8,949万9千円（51.5%）の減少となりましたが、これは、道路新設改良整備事業債、建設機械購入事業債、高金利対策借換債が増加となったものの、公営住宅整備事業債、臨時財政対策債が減少したことによるものであります。

その他の収入については、6億2,112万8千円（46.2%）の増加となりましたが、これは、分担金及び負担金330万5千円（5.5%）、財産収入4,659万円7千円（43.9%）、寄附金799万8千円（46.8%）等が減少したものの、使用料及び手数料2,904万7千円（6.9%）、繰越金4,916万1千円（188.1%）、諸収入6億1,443万5千円（93.6%）が増加したことによるものです。

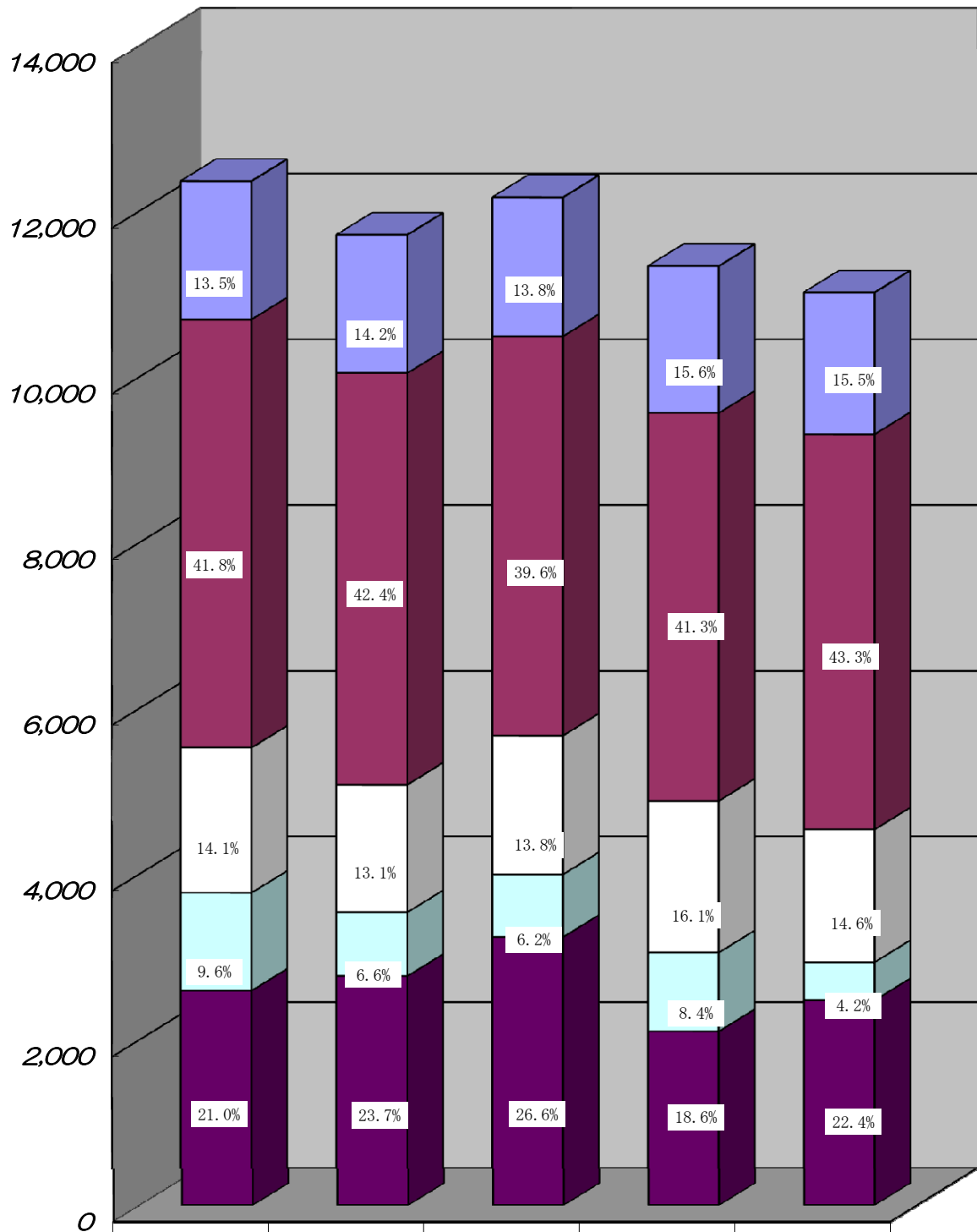
表2 主な歳入決算額の対前年度比較

(単位：千円・%)

| 区 分 | 平成20年度 (A) | | 平成19年度 (B) | | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|----------|---------------|-------|---------------|-------|-------------------|--------|
| | | 構成比 | | 構成比 | | |
| 市 税 | 1,709,032 | 15.5 | 1,770,988 | 15.6 | △ 61,956 | △ 3.5 |
| 地方譲与税 | 155,339 | 1.4 | 162,132 | 1.4 | △ 6,793 | △ 4.2 |
| 利子割交付金 | 5,662 | 0.1 | 5,799 | 0.1 | △ 137 | △ 2.4 |
| 地方消費税交付金 | 169,485 | 1.5 | 187,967 | 1.6 | △ 18,482 | △ 9.8 |
| 地方特例交付金 | 13,419 | 0.1 | 7,604 | 0.1 | 5,815 | 76.5 |
| 地方交付税 | 4,770,104 | 43.3 | 4,681,195 | 41.3 | 88,909 | 1.9 |
| 国庫支出金 | 1,031,713 | 9.4 | 1,224,462 | 10.8 | △ 192,749 | △ 15.7 |
| 道支出金 | 570,394 | 5.2 | 606,165 | 5.3 | △ 35,771 | △ 5.9 |
| 繰入金 | 173,930 | 1.6 | 403,515 | 3.6 | △ 229,585 | △ 56.9 |
| 市 債 | 460,477 | 4.2 | 949,976 | 8.4 | △ 489,499 | △ 51.5 |
| その他の収入 | 1,965,352 | 17.7 | 1,344,224 | 11.8 | 621,128 | 46.2 |
| 合 計 | 11,024,907 | 100.0 | 11,344,027 | 100.0 | △ 319,120 | △ 2.8 |

歳入決算内訳5ヶ年の推移

(単位：百万円)



| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ■市税 | 1,669 | 1,666 | 1,676 | 1,771 | 1,709 |
| ■地方交付税 | 5,167 | 4,968 | 4,818 | 4,681 | 4,770 |
| □国道支出金 | 1,751 | 1,540 | 1,675 | 1,831 | 1,602 |
| □市債 | 1,182 | 770 | 757 | 950 | 460 |
| ■その他収入 | 2,601 | 2,777 | 3,248 | 2,111 | 2,484 |

次に、歳入を依存財源と自主財源別で見ますと、

依存財源は、79億3,475万9千円（構成比72.0%）で前年度と比較すると1億3,430万5千円（1.7%）の減少となりましたが、これは、地方特例交付金、地方交付税、諸収入が増加となったものの、地方消費税交付金、国庫支出金、道支出金、起債等が減少したことによるものであります。

自主財源は、30億9,014万8千円（構成比28.0%）で前年度と比較すると1億8,481万5千円（5.6%）の減少となりましたが、これは、使用料及び手数料、繰越金、諸収入が増加となったものの、市税、財産収入、繰入金等が減少したことによるものであります。

表3 依存財源と自主財源別の対前年度比較

（単位：千円・%）

| 区 分 | 平成20年度 (A) | | 平成19年度 (B) | | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|---------------|-------|---------------|-------|-------------------|-------|
| | | 構成比 | | 構成比 | | |
| 依 存 財 源 | 7,934,759 | 72.0 | 8,069,064 | 71.1 | △ 134,305 | △ 1.7 |
| うち地方交付税 | 4,770,104 | 43.3 | 4,681,195 | 41.3 | 88,909 | 1.9 |
| 自 主 財 源 | 3,090,148 | 28.0 | 3,274,963 | 28.9 | △ 184,815 | △ 5.6 |
| うち市 税 | 1,709,032 | 15.5 | 1,770,988 | 15.6 | △ 61,956 | △ 3.5 |
| うち諸収入 | 558,404 | 5.1 | 471,984 | 4.2 | 86,420 | 18.3 |
| 合 計 | 11,024,907 | 100.0 | 11,344,027 | 100.0 | △ 319,120 | △ 2.8 |

3 歳出の状況（9ページ表4参照）

平成20年度の歳出決算額は、109億4,623万1千円となり、前年度と比較すると3億2,249万9千円（2.9%）の減少となりました。

この歳出決算額の主なものをみますと、義務的経費については、全体で2億3,010万2千円（4.3%）の減少となりましたが、これは、人件費5,198万5千円（2.3%）、扶助費2,417万2千円（1.7%）、公債費1億5,394万5千円（9.1%）が減少したことによるものであります。

投資的経費については、1,224万1千円（1.0%）の減少となりましたが、これは、普通建設事業費1,224万1千円（1.0%）が減少したことによるものです。

その他の経費については、8,015万6千円（1.7%）の減少となりましたが、これは、補助費等9,342万4千円（7.9%）、積立金1,502万円（34.0%）、投資及び出資金4,712万6千円（30.0%）が増加となったものの、物件費6,420万8千円（4.4%）、維持補修費2,268万7千円（14.9%）、貸付金5,439万7千円（22.0%）、繰出金9,443万4千円（6.8%）が減少したことによるものであります。

次に、財政構造の弾力性を示す経常収支比率については、前年度の99.8%から96.3%と3.5ポイント好転しております。

なお、一般財源不足分を補てんするために発行した臨時財政対策債を経常的一般財源収入に加えた場合の実質的な経常収支比率は、前年度の95.7%から92.5%と3.2ポイント好転しております。

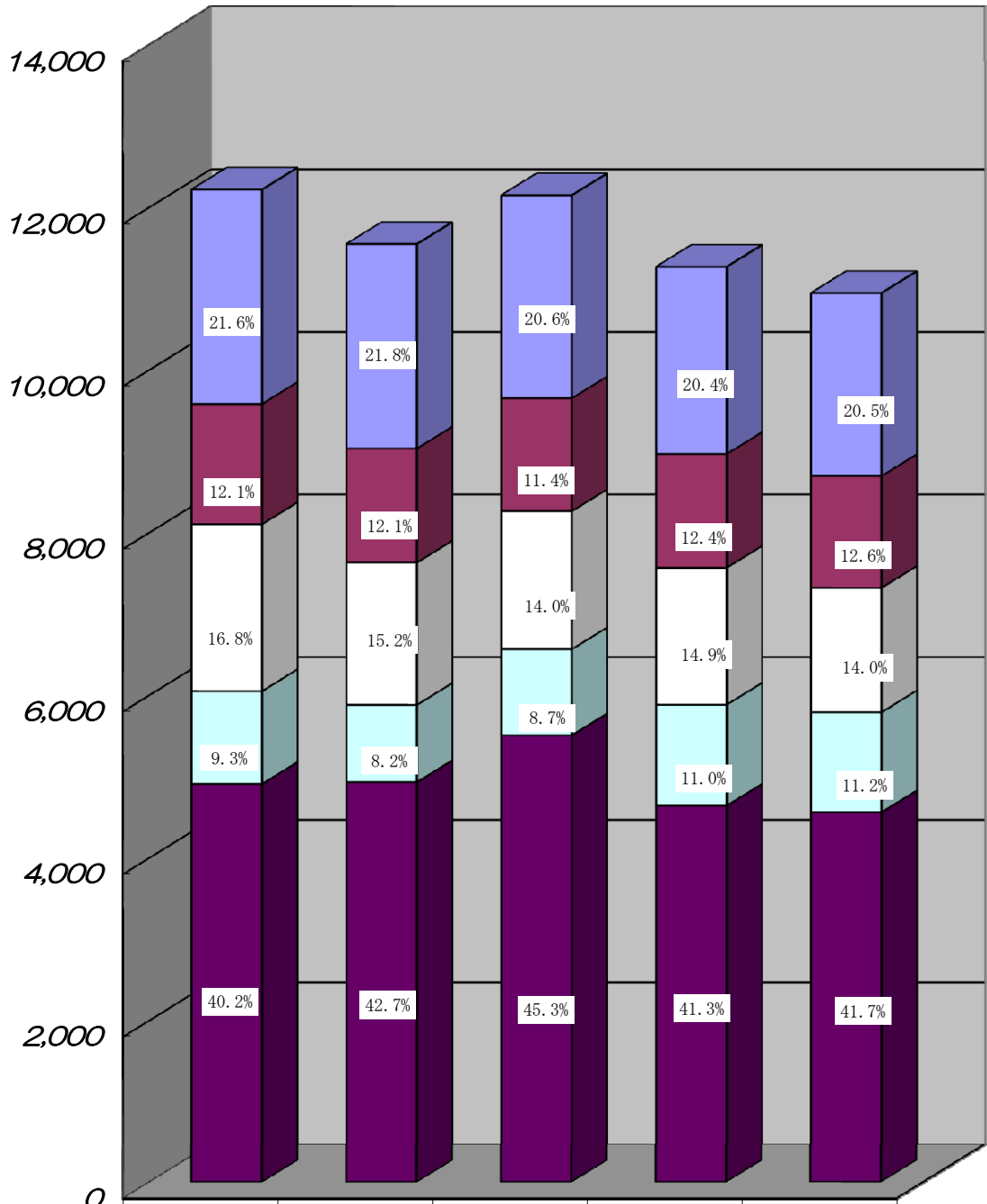
表4 歳出決算額の対前年度比較

(単位：千円・%)

| 区 分 | | 平成20年度 | | 平成19年度 | | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-------------------|--------|
| | | (A) | 構成比 | (B) | 構成比 | | |
| 義務的経費 | 人件費 | 2,250,148 | 20.5 | 2,302,133 | 20.4 | △ 51,985 | △ 2.3 |
| | 扶助費 | 1,375,136 | 12.6 | 1,399,308 | 12.4 | △ 24,172 | △ 1.7 |
| | 公債費 | 1,529,876 | 14.0 | 1,683,821 | 14.9 | △ 153,945 | △ 9.1 |
| | 計 | 5,155,160 | 47.1 | 5,385,262 | 47.7 | △ 230,102 | △ 4.3 |
| 投資的経費 | 普通建設事業 | 1,229,038 | 11.2 | 1,241,279 | 11.0 | △ 12,241 | △ 1.0 |
| | 補助 | 441,437 | 4.0 | 846,237 | 7.5 | △ 404,800 | △ 47.8 |
| | 単独 | 787,601 | 7.2 | 395,042 | 3.5 | 392,559 | 99.4 |
| | 災害復旧事業 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 計 | 1,229,038 | 11.2 | 1,241,279 | 11.0 | △ 12,241 | △ 1.0 |
| 物件費 | 1,409,776 | 12.9 | 1,473,984 | 13.1 | △ 64,208 | △ 4.4 | |
| 維持補修費 | 129,464 | 1.2 | 152,151 | 1.4 | △ 22,687 | △ 14.9 | |
| 補助費等 | 1,280,377 | 11.7 | 1,186,953 | 10.5 | 93,424 | 7.9 | |
| 積立金 | 59,226 | 0.5 | 44,206 | 0.4 | 15,020 | 34.0 | |
| 投資及び出資金 | 204,060 | 1.9 | 156,934 | 1.4 | 47,126 | 30.0 | |
| 貸付金 | 192,405 | 1.7 | 246,802 | 2.2 | △ 54,397 | △ 22.0 | |
| 繰出金 | 1,286,725 | 11.8 | 1,381,159 | 12.3 | △ 94,434 | △ 6.8 | |
| 合計 | 10,946,231 | 100.0 | 11,268,730 | 100.0 | △ 322,499 | △ 2.9 | |

歳出決算内訳5ヶ年の推移

(単位：百万円)



| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ■ 人件費 (義務的経費) | 2,636 | 2,514 | 2,496 | 2,302 | 2,250 |
| ■ 扶助費 (義務的経費) | 1,479 | 1,403 | 1,388 | 1,399 | 1,375 |
| □ 公債費 (義務的経費) | 2,053 | 1,750 | 1,698 | 1,684 | 1,530 |
| □ 投資的経費 | 1,140 | 949 | 1,057 | 1,241 | 1,229 |
| ■ その他経費 | 4,911 | 4,933 | 5,509 | 4,643 | 4,562 |

4 事業の概要

平成20年度の主な事業としては、

| | |
|--------------------------|------------|
| ・ 西芦別地区宅地造成事業 | 49,957 千円 |
| ・ 桜ヶ丘霊園整備事業 | 8,920 千円 |
| ・ 森林環境保全整備事業 | 51,055 千円 |
| ・ 新産業創造等事業 | 513,300 千円 |
| ・ 道路新設改良工事費（福住平岸線ほか7路線） | 124,465 千円 |
| ・ 除雪グレーダ車購入事業 | 22,670 千円 |
| ・ なまこ山総合運動公園整備事業 | 11,504 千円 |
| ・ 道営住宅購入事業 | 61,354 千円 |
| ・ 公営住宅整備事業（すみれ団地ほか9団地） | 6,682 千円 |
| ・ 公営住宅建替事業（あけぼの団地・さつき団地） | 301,852 千円 |
| ・ 啓成中学校整備事業 | 34,896 千円 |

5 地方債の状況（表5参照）

地方債の現在高は、107億3,899万8千円となり、前年度に比べて8億5,152万5千円（7.3%）の減少となりました。

表6 年度末現在高と地方債元利償還金の対前年度比較

（単位：千円・%）

| 区 分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|--------|---------------|---------------|-------------------|--------|
| 年度末現在高 | 10,738,998 | 11,590,523 | △ 851,525 | △ 7.3 |
| 起債発行額 | 460,477 | 949,976 | △ 489,499 | △ 51.5 |
| 元利償還金 | 1,528,789 | 1,681,883 | △ 153,094 | △ 9.1 |
| 元 金 | 1,312,003 | 1,440,481 | △ 128,478 | △ 8.9 |
| 利 子 | 216,786 | 241,402 | △ 24,616 | △ 10.2 |
| 公債費比率 | 10.4 | 12.7 | △ 2.3 | |
| 起債制限比率 | 9.6 | 11.1 | △ 1.5 | |

特別会計

1 奨学資金特別会計

本会計は、向学心に燃えながら経済的な理由により修学困難な学生に対し奨学資金を貸与し、等しく教育を受ける機会を与える目的のため設置したもので、当初予算において1,953万9千円を計上し、年度途中で233万4千円の追加補正を行った結果、最終予算額は2,187万3千円となりました。

予算執行の結果は、歳入決算額2,183万9千円、歳出決算額2,179万2千円となり、歳入歳出差引き4万7千円の剰余金が生じたので、これを全額奨学基金に積み立てました。

歳入歳出決算額の対前年度比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|-------------------|--------|
| 歳入決算額 | 21,839,032 | 26,621,915 | △ 4,782,883 | △ 18.0 |
| 歳出決算額 | 21,792,292 | 24,619,155 | △ 2,826,863 | △ 11.5 |
| 差 引 き | 46,740 | 2,002,760 | △ 1,956,020 | △ 97.7 |
| 実 質 収 支 | 46,740 | 2,002,760 | △ 1,956,020 | △ 97.7 |

2 国民健康保険特別会計

本会計は、被保険者の疾病、負傷、出産及び死亡に関し、必要な保険給付等を行う医療保険を目的として設置した国民健康保険事業の収支を明確にし、健全な運営を期すもので、当初予算において28億2,388万7千円を計上し、年度途中で564万6千円の減額補正を行った結果、最終予算額は28億1,824万円1千円となりました。

予算執行の結果は、歳入決算額27億8,329万3千円、歳出決算額26億8,609万8千円となり、歳入歳出差引き9,719万5千円の剰余金が生じたので、これを全額国民健康保険基金に積み立てました。

歳入歳出決算額の対前年度比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|-------------------|-------|
| 歳入決算額 | 2,783,293,079 | 2,968,696,024 | △ 185,402,945 | △ 6.2 |
| 歳出決算額 | 2,686,097,946 | 2,878,043,024 | △ 191,945,078 | △ 6.7 |
| 差 引 き | 97,195,133 | 90,653,000 | 6,542,133 | 7.2 |
| 実 質 収 支 | 97,195,133 | 90,653,000 | 6,542,133 | 7.2 |

3 新城町簡易水道事業特別会計

本会計は、新城地区住民に清浄な飲料水を供給するため設置した簡易水道事業の収支を明確にし、健全な運営を期すもので、当初予算において201万3千円を計上し、年度途中で1万7千円の追加補正を行った結果、最終予算額203万円となりました。

予算執行の結果は、歳入決算額205万7千円、歳出決算額175万4千円となり、歳入歳出差引き30万3千円の剰余金が生じたので、これを全額翌年度へ繰り越しました。

歳入歳出決算額の対前年度比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|-------------------|-------|
| 歳入決算額 | 2,057,346 | 2,085,603 | △ 28,257 | △ 1.4 |
| 歳出決算額 | 1,754,755 | 1,860,418 | △ 105,663 | △ 5.7 |
| 差 引 き | 302,591 | 225,185 | 77,406 | 34.4 |
| 実 質 収 支 | 302,591 | 225,185 | 77,406 | 34.4 |

4 西芦別地区簡易水道事業特別会計

本会計は、西芦別町をはじめとする三井地区住民に清浄な飲料水を供給するため設置した簡易水道事業の収支を明確にし、健全な運営を期すもので、当初予算において1億9,703万4千円を計上し、年度途中で242万9千円の減額補正を行った結果、最終予算額1億9,460万5千円となりました。

予算執行の結果は、歳入歳出決算額がともに1億9,341万5千円となり、収支が一致しました。

歳入歳出決算額の対前年度比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|-------------------|--------|
| 歳入決算額 | 193,414,547 | 243,084,647 | △ 49,670,100 | △ 20.4 |
| 歳出決算額 | 193,414,547 | 243,084,647 | △ 49,670,100 | △ 20.4 |
| 差 引 き | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 実 質 収 支 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |

5 保健休養施設特別会計

本会計は、市民に健全な保健休養と一般大衆及び旅行者の用に供する事を目的として、健民センター（芦別温泉、国民宿舎「あしべつ」、芦別温泉スターライトホテル）及び国設芦別スキー場並びに星遊館の管理運営について、その事業収支を明確にし、健全な運営を期すもので、当初予算において1億2,031万5千円を計上し、年度途中に365万9千円の追加補正を行った結果、最終予算額は1億2,397万4千円となりました。

予算執行の結果は、歳入歳出決算額がともに1億2,121万円となり、収支が一致しました。

歳入歳出決算額の対前年度比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|-------------------|--------|
| 歳入決算額 | 121,209,588 | 143,672,941 | △ 22,463,353 | △ 15.6 |
| 歳出決算額 | 121,209,588 | 143,672,941 | △ 22,463,353 | △ 15.6 |
| 差 引 き | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 実 質 収 支 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |

6 下水道事業特別会計

本会計は、下水道の整備を図るため設置した下水道事業の収支を明確にし、健全な運営を期すもので、当初予算において8億7,145万2千円を計上し、年度途中に8,677万2千円の追加補正及び繰越事業費繰越額216万5千円を充当した結果、最終予算額は9億6,038万9千円となりました。

予算執行の結果は、歳入歳出決算額がともに9億5,940万6千円となり、収支が一致しました。

歳入歳出決算額の対前年度比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|-------------------|--------|
| 歳入決算額 | 959,406,120 | 1,143,992,582 | △ 184,586,462 | △ 16.1 |
| 歳出決算額 | 959,406,120 | 1,143,977,582 | △ 184,571,462 | △ 16.1 |
| 差 引 き | 0 | 15,000 | △ 15,000 | 皆減 |
| 実 質 収 支 | 0 | 15,000 | △ 15,000 | 皆減 |

7 老人保健特別会計

本会計は、老人医療に関する給付を目的として設置した老人保健事業の医療収支を明確にし、健全な運営を期すもので、当初予算において

2億9,471万9千円を計上し、年度途中に4,596万9千円の追加補正を行った結果、最終予算額は3億4,068万8千円となりました。

予算執行の結果は、歳入決算額3億3,108万4千円、歳出決算額3億2,508万4千円となり、歳入歳出差引き6百万円の剰余金が生じました。

しかし、これは支払基金交付金の概算交付金が、精算交付額を上回って交付されたものであり、この超過交付額は翌年度において返還するものであります。

歳入歳出決算額の対前年度比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|-------------------|--------|
| 歳入決算額 | 331,084,022 | 3,374,713,783 | △ 3,043,629,761 | △ 90.2 |
| 歳出決算額 | 325,083,892 | 3,417,032,325 | △ 3,091,948,433 | △ 90.5 |
| 差 引 き | 6,000,130 | △ 42,318,542 | 48,318,672 | 114.2 |
| 実 質 収 支 | 6,000,130 | △ 42,318,542 | 48,318,672 | 114.2 |

8 介護保険事業特別会計

本会計は、介護保険に関する給付を目的として設置した介護保険事業の収支を明確にし、健全な運営を期すもので、当初予算において14億1,459万4千円を計上し、年度途中に2,722万4千円の追加補正を行った結果、最終予算額は14億4,181万8千円となりました。

予算執行の結果は、歳入決算額14億4,999万4千円、歳出決算額13億9,543万5千円となり、歳入歳出差引き5,455万9千円の剰余金が生じたので、これを全額翌年度へ繰り越しました。

剰余金のうち、介護給付費を上回って概算払いされた国及び道からの負担金、支払基金交付金等については、翌年度に確定後、返還するものであります。

歳入歳出決算額の対前年度比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|-------------------|--------|
| 歳入決算額 | 1,449,994,418 | 1,430,084,507 | 19,909,911 | 1.4 |
| 歳出決算額 | 1,395,435,970 | 1,363,451,257 | 31,984,713 | 2.3 |
| 差 引 き | 54,558,448 | 66,633,250 | △ 12,074,802 | △ 18.1 |
| 実 質 収 支 | 54,558,448 | 66,633,250 | △ 12,074,802 | △ 18.1 |

9 介護サービス事業特別会計

本会計は、介護サービス等の提供を目的として設置した訪問看護事業、通所介護事業、介護老人保健施設事業、居宅介護支援事業、地域包括支援事業の各収支を明確にし、健全な運営を期すもので、当初予算において4億4,732万1千円を計上し、年度途中に258万円の追加補正を行った結果、最終予算額は4億4,990万1千円となりました。

予算執行の結果は、歳入決算額4億5,688万7千円、歳出決算額4億4,367万1千円となり、歳入歳出差引き1,321万6千円の剰余金が生じたので、これを全額翌年度へ繰り越しました。

歳入歳出決算額の対前年度比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|-------------------|-------|
| 歳入決算額 | 456,886,869 | 450,539,065 | 6,347,804 | 1.4 |
| 歳出決算額 | 443,670,899 | 450,539,065 | △ 6,868,166 | △ 1.5 |
| 差 引 き | 13,215,970 | 0 | 13,215,970 | 皆増 |
| 実 質 収 支 | 13,215,970 | 0 | 13,215,970 | 皆増 |

10 後期高齢者医療特別会計

本会計は、高齢者の疾病、負傷又は死亡に関して必要な給付を行うことを目的として設置した後期高齢者医療事業の収支を明確にし、健全な運営を期すもので、当初予算において3億998万9千円を計上し、年度途中に5,554万1千円の減額補正を行った結果、最終予算額は2億5,444万8千円となりました。

予算執行の結果は、歳入決算額2億4,996万4千円、歳出決算額2億4,974万2千円となり、歳入歳出差引き22万2千円の剰余金が生じたので、これを全額翌年度へ繰り越しました。

歳入歳出決算額の対前年度比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成20年度 (A) | 平成19年度 (B) | 比較増減 (A) - (B) | 増減率 |
|---------|---------------|---------------|-------------------|-----|
| 歳入決算額 | 249,963,707 | 0 | 249,963,707 | 皆増 |
| 歳出決算額 | 249,741,607 | 0 | 249,741,607 | 皆増 |
| 差 引 き | 222,100 | 0 | 222,100 | 皆増 |
| 実 質 収 支 | 222,100 | 0 | 222,100 | 皆増 |